



こつき
克己

黒木中だより 臨時号

令和 2年 7月 30日

八女市立黒木中学校

八女市黒木町北木屋 60

☎ 0943-42-0109

校長 河口 昭彦

何のためにマスクをするのか？ コロナにかからないためだけ？

7月29日（水）福岡県での1日のコロナウィルスの感染者が、100名を超えました。その中で感染経路がはっきりしてない方が63名いました。新聞にも記載されていましたが、八女市内の事業所でも感染者が確認されています。この方は八女市在住ではなかったのですが、私たちの感染リスクは2・3月の感染の第一波以上に、大きくなってきています。

このような中、気になることがあります。2月末、緊急に一斉休校となりました。その後、再開されたのは5月末でした。まだ、2ヶ月しか経っていません。再開当初は、マスクを注意することや手洗い、消毒忘れは今より少なかったと思います。今はどうでしょうか。マスクは何のためにしているのでしょうか？
○飛沫防止（唾液が周囲に飛ばないように）だけだと思いますか？

私が思うのは、「きちんと予防している」という姿勢です。皆さんの使った教室やドアのノブを毎日、先生が消毒されていることを知っていますか。給食の配膳台を使用前に拭き上げていること、もちろんやってますよね。これをしているから、給食が食べられるのです。マスクや手洗いをして感染予防をきちんとしているから授業ができるのです。

【夜の町での集団感染】について批判が出ていますが、そのお店の予防策がどうだったのかが問われています。他方、「これだけの予防策をしていますから、お店を開いています。」と訴える飲食店のオーナーをニュースで見ました。きちんとしているところは、信用されるのです。

8月1日、8日中体連の夏季大会が開催されます。保護者の応援は3年生だけと制限し、大会の運営も今までと異なっています。これだけの対策をとっているから開けるのです。

2年生は、12月に修学旅行を予定しています。関西方面、2泊3日です。修学旅行については、県知事は「県内で」と述べ、新聞紙上でも、「目的地の変更、期間の縮小、修学旅行自体の中止」などの意見が出ています。このような中、本校では、是非実施したい、それも予定通りに、と考えています。しかし、その考えを強く言えるのは、本校ができる限りの予防策を実施しているかどうかにかかっています。本校の2年生は、指示されたことだけでなく、自分で考え、危険なところには行きません。危険と思われる行為（みだりに多くの人が触った場所に触れるなど）はきちんと理解し、絶対しません。と自信を持って、言えるかどうかなのです。

体育会などの他の行事もそうです。秋の中体連新人大会も、八女地区音楽会も。普通に考えれば、三密の危険があります。やってはいけないと言われるでしょう。でも、これだけきちんと対応しますから、やらせてください！と納得してもらおうのです。

私たち大人も初めての経験です。いつがゴールなのか、わかりません。きついでしょう。面倒くさいでしょう。でも、諦（あきら）めたら最後です。テレビで「若い者は重症化しないから」とマスクを外し酔（よ）っている青年が話していました。その隣には友人が、友人にはもしかしたら、祖父母がいるかもしれませぬ。あなたは大丈夫でも、その周りには。

【黒木中生徒・教職員・そして保護者の皆さん 一緒に乗り越えましょう。みんなで声掛け合いながら】